

河北潟地方の神社と祭神の分析II

宮本 眞晴

河北潟湖沼研究所歴史委員会

〒920-0267 石川県河北郡内灘町字大清水 302

要約： 神社に祀られる神々は時代によって変化し、その時代の考え方の影響を受けている。現存する神社の系譜をたどることによりその土地の埋もれた歴史について知ることができる。筆者は河北潟地方の神社 113 社に対して文献及び現地調査を行った。本論文では河北潟地方の祭神を性格ごとに分類し、地図上に記載し、かつて河北潟地方の人々がどのような暮らしを営んでいたのかを推測した。

キーワード：河北潟地方、神社、祭神、系統、出自

序論

もともと神社に祀られる祭神はその地区の生活や歴史を色濃く反映したものであり、祭神の性格を分析することによって、過去を知る手がかりが得られると考えられる。宮本（1997）は、河北潟地方に現在まで残る神社と祭神の一覧を掲げ、それぞれの神の出自を明らかにしたが、本論文では、このデータに基づき河北潟地方の祭神を性格ごとに分類し、地図上に記載し、かつて河北潟地方のどの場所で、人々がどのような暮らしを営んでいたのかを推測した。

祭神の分類

河北潟地方に見られる祭神 54 柱を性格ごとに分類すると以下ようになる（註1）。番号は宮本（1997）の「河北潟周辺の神々の出自」に従った。ただし、商売繁盛や縁結びといった現世の御利益に関するものは除いてある。これらはもともと祭神の本質とは関係

ないものであり、多くは後世に附会されたものであるからである（註2）。

1. 金属に関する神

- (1) 味耜高根彦根神（あじすきたかねひこねのかみ）
- (19) 軻遇突智命（かぐつちのみこと）
- (20) 金山彦命（かなやまひこのみこと）
- (48) 火結神
- (54) 日本武尊（やまとたけるのみこと）

2. 市、交易に関する神

- (2) 葦津姫命（あしづひめのみこと）
吾田鹿葦津姫命（あたのかあしづひめのみこと） 大市比売神（おおいちひめのかみ）
- (30) 木花開耶姫命（このはなさくやひめのみこと）

3. 酒造に関する神

- (2) 葦津姫命

- (17) 大山咋命(おおやまくいのみこと)
- (18) 気長足姫命(おきながたらしひめのみこと) 気長足姫尊
- (18)-2 神功皇后(じんぐうこうこう)
- (31) 酒解神(さかときがみ)
- (34) 少彦名命(すくなひこなのみこと) 少彦名神 少名彦那神

4. 農業・養蚕に関する神

- (2) 葦津姫命 吾田鹿葦津姫命
- (3) 天津彦彦火瓊々杵尊(あまつひこひこほのににぎのみこと)
- (5) 天照大神(あまてらすおおみかみ) 天照大御神 天照皇大神
- (6) 天児屋根命(あめのこやねのみこと) 天児屋根神 天児屋根尊 天津児屋根尊
- (7) 伊弉諾尊(いざなぎのみこと) 伊弉諾命 伊邪那岐命
- (8) 伊弉冊尊(いざなみのみこと) 伊弉冊神 伊邪奈美命 伊弉冊命
- (10) 宇迦之御魂神(うかのみたまのかみ) 稻倉魂命 倉稻魂神 宇氣保神 保食神
- (15) 大己貴神(おおなむちのかみ) 大物主命(おおものぬしのみこと) 大己貴命 大己貴尊
- (21) 賀茂建角身命(かものたけつぬみのみこと)
- (22) 賀茂別雷神(かもわけいかずちのかみ)
- (23) 賀茂神(かものかみ)
- (25) 貴布祢神(きふねのかみ)
- (27) 菊理姫尊(くくりひめのみこと) 菊理媛神
- (32) 猿田彦命(さるたひこのみこと) 猿田彦神

- (33) 菅原道真(すがわらのみちざね)
- (33)-2 菅原大神(すがわらのおおかみ)
- (35) 素戔鳴神(すさのおのかみ)
- (38) 武甕槌神(たけみかづちのかみ) 武甕槌命
- (39) 建御名方命(たけみなかたのみこと) 建御名方神
- (42) 豊宇氣毘売神(とようけひめのかみ) 豊受皇大神(とようけすめのおおかみ)
- (43) 波自加弥神(はじかみのかみ)
- (45) 比咩大神(ひめのおおかみ)
- (49) 火雷神(ほのいかづちのかみ)
- (51) 罔象女神(みずはのめのみこと)
- (52) 御年神(みとしのかみ)
- (53) 八坂刀売命(やさかとめのみこと)
- (54) 日本武尊(やまとたけるのみこと)

5. 山火鎮護に関する神

- (2) 葦津姫命 吾田鹿葦津姫命
- (20) 金山彦命

6. 漁業(海上安全)に関する神

- (3) 葦津姫命 吾田鹿葦津姫命
- (9) 市杵島姫命(いちきしまひめのみこと)
- (11) 上津綿津見神(うえつわたつみのかみ) 中津綿津見神 底津綿津見神
- (11)-2 綿津見神
- (12) 蛭子神(えびすかみ・ひるこがみ)
- (13) 応神天皇(おうじんてんのう)
- (13)-2 正八幡神(しょうはちまんがみ)
- (13)-3 八幡神(はちまんのかみ)
- (13)-4 菅田別尊(ほんだわけのみこと) 菅田別命 菅田別皇命(ほんだ

- わけすめらみこと)
- (15) 大巳貴神 (おおなむちのかみ)
大物主命 (おおものぬしのみこと) 大物主神 (おおものぬしのかみ) 大巳貴命 (おおなむちのみこと) 大巳貴尊
- (27) 菊理姫尊 菊理媛神 菊理媛命
- (28) 事代主神 (ことしろぬしのかみ)
- (32) 猿田彦命 (さるたひこのみこと) 猿田彦神 (さるたひこのかみ)
- (36) 高皇産霊神 (たかみむすびのかみ)
- (38) 武甕槌神 武甕槌命
- (45) 比咩大神 比売神
7. 織物に関する神
- (5) 天照大神 天照大御神 天照皇大神
8. 開拓に関する神
- (13) 応神天皇
- (13) -2 正八幡神
- (13) -3 八幡神
- (13) -4 菅田別尊 菅田別命 菅田別皇命
- (15) 大巳貴神 大物主命 大物主神 大巳貴命 大巳貴尊
- (32) 猿田彦命 猿田彦尊
9. 医薬・温泉に関する神
- (15) 大巳貴神 大物主命 大巳貴命 大巳貴尊
- (34) 少彦名命 (すくなひこなのみこと) 少彦名神 少名彦那神
10. 土木建設に関する神
- (17) 大山咋命 (おおやまくいのみこと) 大山咋尊 大山咋神
- (18) 気長葦姫命 (おきながたらしひめのみこと) 気長足姫尊
- (21) 賀茂建角身命 (かものたけつぬみのみこと)
- (22) 賀茂別雷神 (かもわけいかづちのかみ)
- (23) 加茂神 (かものかみ)
- (35) 素戔鳴神 (すさのおのかみ) 素戔鳴命
- (36) 高皇産霊神
- (39) 建御名大命 (たけみなかたのみこと) 建御名方神
- (49) 火雷神 (ほのいかづちのかみ)
- (50) 前田綱紀 (まえだつなおり)
- (53) 八坂刀売命 (やさかとめのみこと) 八坂刀売神
11. 野の神, 山の神
- (24) 草野比咩神 (かやのひめのかみ)
- (31) 酒解神 (さかときがみ)
- (35) 素戔鳴神
12. 水に関する神
- (25) 貴布祢神 (きぶねのかみ)
- (51) 罔象女神 罔象女神命
13. 樹木に関する神
- (26) 句々酒知命 (くぐぬちのみこと)
14. 学問に関する神
- (33) 菅原道真 (すがわらのみちざね)
- (33) -2 菅原大神
15. 武に関する神
- (38) 武甕槌神 武甕槌命
- (46) 経津主命 (ふつぬしのみこと) 経津主神
- (54) 日本武尊
16. ト占 (ぼくせん) に関する神

(47) 太玉命 (ふとだまのみこと)

神社の分布

次に、前項 1～16 のうち特徴的なものについて、それぞれの神を祀る神社の所在地を地図上に表記し、考察を加えた。それぞれの神社の番号は宮本 (1997) の「河北潟地方 113 社の祭神と沿革」に従った。

1. 金属に関する神社 (図 1)

- | | | | |
|-----|-------|------|--------|
| 高松町 | (2) | 長柄町 | 盛土神社 |
| 津幡町 | (46) | 加賀爪 | 白鳥神社 |
| 金沢市 | (65) | 不動寺町 | 軻遇突知神社 |
| | (75) | 八田町 | 須々幾神社 |
| | (82) | 柳橋町 | 市杵嶋神社 |
| | (103) | 北間町 | 平野神社 |
| | (105) | 蚊爪町 | 金山彦神社 |

製鉄をおこなうには、多量の木炭が必要であり、それを保障する樹林の存在が欠かせない。以上の神社のうち (65), (82) は山裾に位置するため、製鉄材料の木炭の入手は容易であつたろうと思われるが、(103), (105) の浅野川下流は、現在は田園地帯の真中の地域で、樹林とは縁が無いように思えるが、古代の植生はどうだったのだろうか。(2) は近くに古代の製鉄遺跡がある金津郷にある神社である。その他、河北潟地方には、スキ (鋤) を連想する須崎町といった地名や、東蚊爪町の須崎神社等があるが、現在は金属に関する神は祀られていない。

2. 市・貿易に関する神社 (図 2)

- | | | | |
|------|------|----|--------|
| 宇ノ気町 | (23) | 多田 | 八幡神社 |
| | (5) | 笠島 | 上堂社 |
| 津幡町 | (47) | 清水 | 清水八幡神社 |
| | (31) | 領家 | 富士神社 |

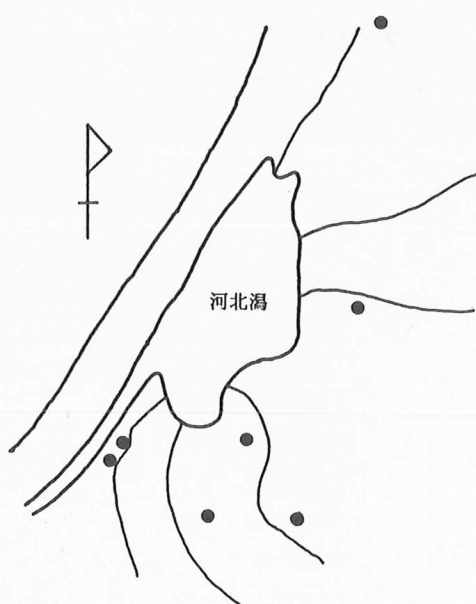


図 1. 金属に関する神社の所在地

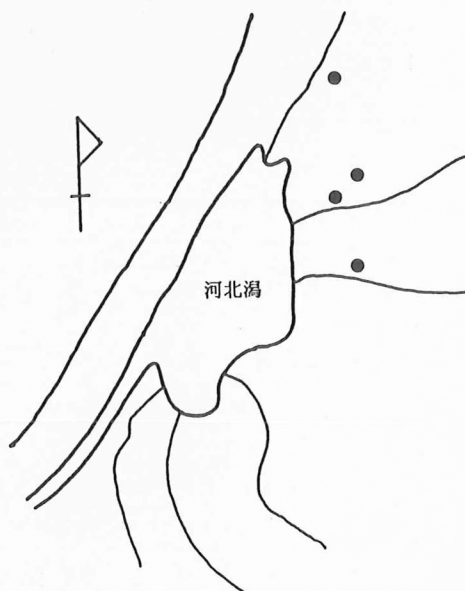


図 2. 市・貿易に関する神社の所在地

(5) は古代の横山駅といわれる地域である。(47) は古代の深見駅といわれる地域にあり、元来、市・貿易がおこなわれていた土地である。一方、金沢市二日市町はその名から古代の市があったと思われるが、神社誌から見るかぎり、この地区にある波自加祢神社の祭神には市に関する神の名がない。調査不足かもしれない。

3. 酒造に関する神社

- | | | |
|------|------------|---------|
| 宇ノ気町 | (23) 多田 | 八幡神社 |
| | (5) 笠島 | 上堂社 |
| | (16) 上山田 | 日吉神社 |
| | (22) 指江 | 八幡神社 |
| 津幡町 | (47) 清水 | 清水八幡神社 |
| | (35) 能瀬 | 日吉神社 |
| | (36) 加茂 | 加茂神社 |
| | (37) 舟橋 | 八幡神社 |
| | (42) 中須加 | 八幡神社 |
| | (51) 南中条 | 八幡神社 |
| | (53) 太田 | 八幡神社 |
| | (39) 川尻 | 醫師神社 |
| | (31) 領家 | 富士神社 |
| | (40) 中橋 | 八幡神社 |
| | (41) 五反田 | 八幡神社 |
| | (43) 横浜 | 野田八幡神社 |
| 金沢市 | (90) 宮保町 | 日吉神社 |
| | (76) 大場町 | 佐那武神社 |
| | (91) 干木町 | 日吉神社 |
| | (86) 三池町 | 日吉神社 |
| | (55) 利屋町 | 日吉神社 |
| | (64) 堅田町 | 誉田別神社 |
| | (96) 東蚊爪町 | 須岐神社 |
| | (73) 才田町 | 八幡神社 |
| | (99) 磯部町 | 八幡神社 |
| | (89) 田中町 | 八幡神社 |
| | (106) 五郎島町 | 五郎島八幡神社 |
| | (102) 大河端町 | 大河端八幡神社 |

社

- | | | |
|------------|-----------|-------|
| (101) 三屋町 | 三屋八幡神社 | |
| (100) 三口町 | 三口八幡神社 | |
| (93) 大浦町 | 豊栄神社 | |
| (94) 千田町 | 八坂神社 | |
| (57) 花園八幡町 | 波自加祢神社 | |
| (70) 吉原町 | 郡家神社 | |
| 内灘町 | (112) 室 | 八幡神社 |
| | (109) 大根布 | 小浜神社 |
| | (113) 鶴ヶ丘 | 鶴ヶ丘神社 |

五柱の神を酒造の神として記したが、ちなみに酒造、醸造上の神として名高い京都市西条区嵐山宮町の松尾大社の祭神は大山咋神、市杵島姫命である。

4. 織物に関する神社 (図3)

- | | | |
|------|---------|------|
| 七塚町 | (24) 木津 | 神明神社 |
| 宇ノ気町 | (1) 横山 | 賀茂神社 |
| | (4) 谷 | 亀田神社 |

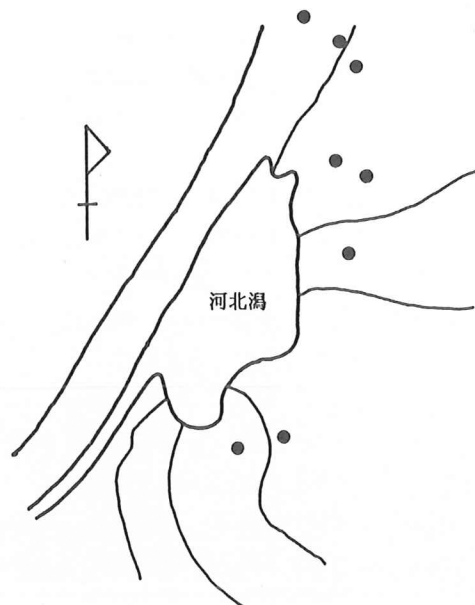


図3. 織物に関する神社の所在地

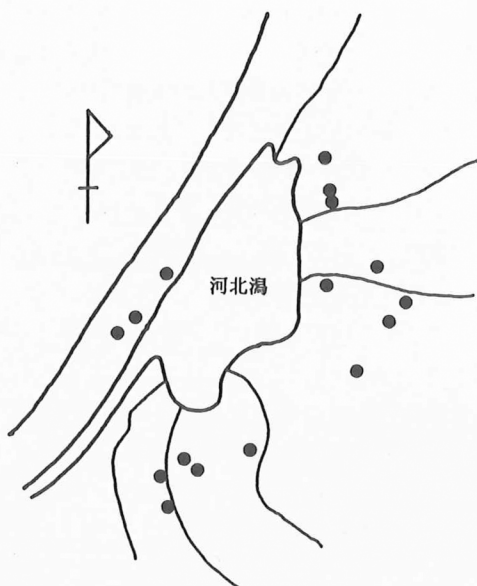


図4. 医薬, 温泉に関する神社の所在地

- | | |
|-----|----------------|
| | (23) 多田 八幡神社 |
| | (12) 鉢伏 闇地神社 |
| 津幡町 | (36) 加茂 加茂神社 |
| 金沢市 | (61) 北森本町 川崎神社 |
| | (76) 大場町 佐那武神社 |

5. 医薬, 温泉に関する神社 (図4)

- | | |
|------|----------------|
| 宇ノ気町 | (21) 狩鹿野 大物主神社 |
| 津幡町 | (39) 川尻 醫師神社 |
| | (50) 浅田 井上三輪神社 |
| | (31) 領家 富士神社 |
| | (49) 北中条 三輪神社 |
| | (35) 能瀬 日吉神社 |
| | (47) 清水 清水八幡神社 |
| 金沢市 | (70) 吉原町 郡家神社 |
| | (86) 三池町 日吉神社 |
| | (90) 宮保町 日吉神社 |
| | (84) 横枕町 少彦名神社 |
| | (94) 千田町 八坂神社 |

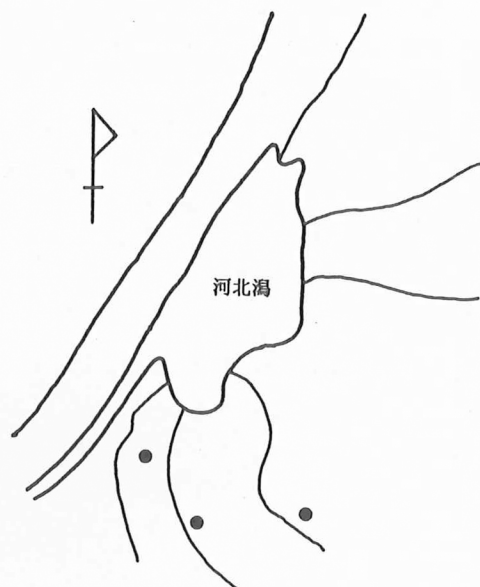


図5. 野の神, 山の神を祀る神社の所在地

- | | |
|-----|-------------------|
| | (57) 花園八幡町 波自加祢神社 |
| 内灘町 | (109) 大根布 小浜神社 |
| | (110) 宮坂 黒船神社 |
| | (113) 鶴ヶ丘 鶴ヶ丘神社 |

内灘町大根布の潟沿いに温泉があり亀の湯と呼ばれていた。後年、砂丘を拓き丘に団地ができた時、鶴ヶ丘と名付けられたところから、少彦名神・大日貴神が祭神となったものか。

6. 野の神, 山の神を祀る神社 (図5)

- | | |
|-----|------------------|
| 金沢市 | (24) 小坂町東 野間神社 |
| | (93) 大浦町 豊栄神社 |
| | (95) 不動寺町 軻遇突知神社 |

7. 水に関する神社 (図6)

- | | |
|-----|--------------|
| 高松町 | (2) 長柄町 盛土神社 |
|-----|--------------|

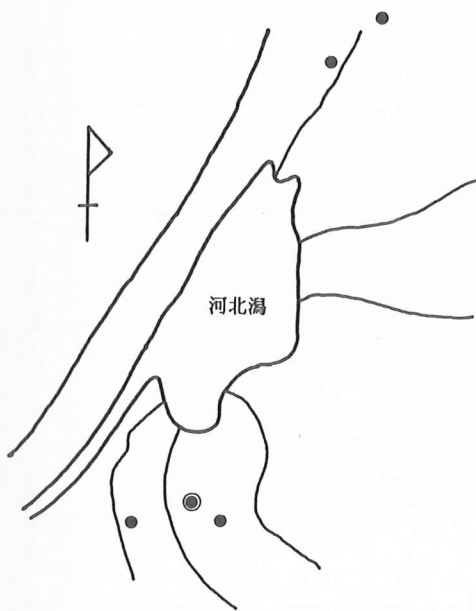


図6. 水に関する神社の所在地

- 宇ノ気町 (1) 横山 賀茂神社
 金沢市 (98) 松寺町 木船神社
 (82) 柳橋町 市杵嶋神社
 (95) 千田町 貴船神社
 (94) 千田町 八坂神社

参考文献

- 「石川県神社誌」 石川県神社庁
 「河北郡誌」 日置 謙 河北郡役所 1921
 (大正9)
 「内灘町史」 編集委員会 内灘町役場
 1982 (昭和57)
 「津幡町史」 編集委員会 津幡町役場
 1974 (昭和49)
 「加賀、能登史蹟の散歩」 田中喜男 北国
 出版社 1971 (昭和46)
 「式内社の研究第8巻北陸道」 志賀 剛
 雄山閣出版 1985 (昭和60)

- 「北陸古代王朝の謎」 能坂利雄 新人物往
 来社
 「能登・加賀の渡来民」 浅井茂人 北国出
 版社 1986 (昭和61)
 「神道の本」 学習研究社 1992 (平成4)
 「日本の神様を知る事典」 阿部正路 日本
 文芸社 1995 (平成7)
 「日本史探訪1日本人の原像」 角川書店
 1983 (昭和58)
 「逆・日本史全4巻」 樋口清之 詳伝社
 1985 (平成7)
 「日本の歴史」 朝日新聞社 1986 (昭和61)
 「世界大百科事典」 平凡社
 「石川県の歴史」 下出積与 山川出版社
 1970 (昭和45年)

註

(註1)

宮本(1977)においては55柱を記したが、(2)と(30)が同神なので、本論文では54柱とした。

(註2)

たとえば、先年亡くなった可馬遼太郎はその著書「この国のかたち 五」の神道(一)で次のように記している。

「神道(しんとう)に、教祖も教義もない。たとえばこの島々にいた古代人たちは、地面に顔を出した岩の露頭ひとつにも底(そこ)つ磐根(いわね)の大きさをおもい、奇異を感じた。(以下略)

人々は畏(おそ)れを覚えると その回りを清め、清浄の地とした。社殿もなかった。後世仏教が伝わりその形をとる。穢(けが)れを去る為に禊(みそ)ぎをする。ひたすらに清浄を尊ぶ。基本的に現世御利益(げんせいごりやく)など無い。後世に附会されたもの

である。」

補足

河北潟総合研究第1巻 p.13-44.「河北潟地方の神社と祭神の分析Ⅰ」を執筆した際には神々の出自について不詳であったもののうち、その後判明した事柄について補足しておく。

(4) 天星神(あまつほしのかみ)(p.29-左) に関しては以下のことが判明した。

類似の名で天津甕星神(あまつみかほしのかみ)、天赤星神(あまつあかほしのかみ)がある。

天津甕星の神 名義不詳。天に在る悪神で、折々怪光を現し高天原の諸神を惑わす。経津主神が武甕槌神と天神の命を受けて中国(なかつくに)平定の途につくに先だってこの神を誅したという。天香香背男(あまのかかせ

お)の別名。

天赤星神 天神 邇芸速日命(にぎはやひのみこと)が天降る時五箇神の一人として従い降った神。

(16)大禍津日神(おおまがつひのかみ)(p.32-右) に関しては以下のことが判明した。

出自: 父 イザナギ

本籍地: 高天原

族: 天孫族

その他: イザナギが黄泉の国から逃れ川でミソギをしたときに成った神で本居宣長(もとおりのみなが)は悪神としている。

(55) 若子神(わかこかみ) 大若子神・子若子神(p.40-左) に関しては以下のことが判明した。

系統, 時蹟不詳。延喜式神名帳山城国葛野郡に梅宮があり, この神(大若子神)の他, 三座を祀っている。